

2022年2月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社JMDC

コード番号 4483 URL <https://www.jmdc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 CEO (氏名) 松島 陽介

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 兼 CFO (氏名) 山元 雄太 TEL 03-5733-5010

四半期報告書提出予定日 2022年2月14日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績 (2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	15,679	35.1	3,417	41.0	3,408	41.6	2,279	44.4	2,280	44.5	2,279	44.5
2021年3月期第3四半期	11,606	34.1	2,424	63.7	2,406	67.2	1,578	62.3	1,578	62.3	1,577	62.2

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	40.61	38.27
2021年3月期第3四半期	30.12	28.98

(参考) EBITDA 2022年3月期第3四半期 4,580百万円 (39.5%) 2021年3月期第3四半期 3,284百万円 (45.9%)

(注) 1. 当社は、2020年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、基本的1株当たり四半期利益及び希薄化後1株当たり四半期利益を算出しております。

2. EBITDA：営業利益+減価償却費及び償却費土その他の収益・費用

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	60,393	30,154	30,154	49.9
2021年3月期	58,264	28,250	28,250	48.5

(注) 2022年3月期第3四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2021年3月期の各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2022年3月期	-	0.00	-	-	-
2022年3月期 (予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,550	28.5	4,800	29.9	4,750	30.6	3,250	31.3	3,250	31.3	58.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

(参考) EBITDA 2022年3月期通期 (予想) 6,400百万円 (31.5%)

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期3Q	56,433,008株	2021年3月期	55,935,808株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	459株	2021年3月期	366株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期3Q	56,167,660株	2021年3月期3Q	52,420,178株

(注) 当社は、2020年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関連する事項については添付資料の4ページをご参照ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しています。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報) .....	11
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社は、「データとICTの力で、持続可能なヘルスケアシステムを実現する」ことを目指して、日本のヘルスケア業界の多様なデータを結集し、社会に還元することを通じて、生活者の健康増進や医療プロバイダーの価値向上・業務最適化を支援しております。

ヘルスビッグデータセグメントは、健康保険組合の保健事業を推進するため、健康保険組合が保有するデータの分析サービスの他、当社開発のPHRサービスを提供しております。また、医療機関に対しても医療データ分析サービス、診療報酬ファクタリングサービスの他、薬剤DBの提供等を行っております。さらに、こうした業務の付帯として受領した匿名加工情報をデータベース化し、学術・産業利用を進めております。

遠隔医療セグメントは、放射線診断専門医が不足している医療機関と契約読影医を遠隔読影システムでつなぐマッチングサービスの他、医療機関と放射線診断専門医をクラウドでつなぎ、遠隔での画像診断を可能としたASPサービスを提供しております。

調剤薬局支援セグメントは、保険薬局に対してレセコン及び電子薬歴システムなどのシステム開発・販売事業を行う他、自らも調剤薬局を運営する中で、自社システムのオペレーションテストを実施しております。

当第3四半期連結累計期間の業績は、以下のとおりであります。

(当期の業績)

(単位：百万円)

区 分	第8期	第9期	比較増減	
	第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)		
売上収益	11,606	15,679	+4,073	+35.1%
営業利益	2,424	3,417	+993	+41.0%
EBITDA(マージン)	3,284 (28.3%)	4,580 (29.2%)	+1,296	+39.5%

(セグメントの業績)

(単位：百万円)

区 分	第8期	第9期	比較増減		
	第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)			
ヘルスビッグ データ	セグメント売上収益	6,753	9,883	+3,130	+46.3%
	セグメント利益(率)	2,316 (34.3%)	3,412 (34.5%)	+1,096	+47.3%
遠隔医療	セグメント売上収益	3,000	3,370	+370	+12.3%
	セグメント利益(率)	918 (30.6%)	1,200 (35.6%)	+282	+30.7%
調剤薬局支援	セグメント売上収益	1,950	2,567	+617	+31.6%
	セグメント利益(率)	241 (12.4%)	209 (8.1%)	△32	△13.3%
調整額	セグメント売上収益	△97	△143	△46	—
	セグメント利益	△192	△242	△50	—
合計	売上収益	11,606	15,679	+4,073	+35.1%
	EBITDA(マージン)	3,284 (28.3%)	4,580 (29.2%)	+1,296	+39.5%

(注) 当社グループの経営方針・経営戦略等又は経営上の目標の達成状況を判断するための客観的な指標として、EBITDAがあります。当社グループは、EBITDAを用いて各セグメントの業績を測定しており、当社グループの業績評価をより効果的に行うために有用かつ必要な指標であると考えております。EBITDA及びEBITDAマージンの計算式は以下のとおりです。

- ・EBITDA : 営業利益+減価償却費及び償却費±その他の収益・費用
- ・EBITDAマージン : EBITDA/売上収益×100

[ヘルスビッグデータ]

当第3四半期連結累計期間においては、前連結会計年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大による対面営業の抑制等のマイナス要因は続いておりますが、その中で事業は拡大を続けております。

取引先健康保険組合数、当社開発の健康情報プラットフォーム「PeppUp」(ペップアップ)の発行ID数は継続して増加しております。さらに、提供する電子カルテ(臨床検査値)データベースにおける累積母集団数が100万人を超える等、あらたなヘルスケアデータの獲得も行ってまいります。

また、医師の学術活動を迅速に分析するクラウドサービス「ドクターナ」、健康保険組合向けの「健保財政予測支援サービス」の提供開始等、サービスの拡充にも取り組んでまいりました。

医療提供者向け事業については、医師向け薬剤アプリ「イシヤク」のダウンロード数の増加、株式会社アイシーエムのグループ加入などにより拡大を続けております。

一方で、急速に拡大する事業機会を取り込み、将来の成長を加速させるため、引き続き人件費を中心に積極的な先行投資を実施しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間のセグメント売上収益は、9,883百万円となり、セグメント利益（セグメントEBITDA）は3,412百万円となりました。

#### [遠隔医療]

当第3四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症拡大による来院自粛に伴う医療機関あたりの画像診断依頼の減少の影響が続いておりますが、前年同期比では緩やかに回復しております。また、胸部X線肺炎検出AIエンジン(COVID-19)の薬事承認を日本で初めて取得し、人工知能エンジンプラットフォーム「AI-RAD」でのサービス提供・販売を開始する等、遠隔画像診断領域におけるサービス拡充を続けております。

この結果、当第3四半期連結累計期間のセグメント売上収益は、3,370百万円となり、セグメント利益（セグメントEBITDA）は1,200百万円となりました。

#### [調剤薬局支援]

当第3四半期連結累計期間においては、既存顧客の買換え（リプレース）需要を確保しつつ、新規顧客の開拓に努めてまいりました。新型コロナウイルス感染症拡大による医療機関への来院控えに伴う調剤薬局への利用頻度の低下に起因する、自社で営む調剤薬局の売上減少及び顧客調剤薬局の投資抑制の影響は引き続き受けておりますが、次世代の電子薬歴レセコン一体型システム「P-CUBE n」の販売開始と、同業者が当社グループに加入したことで事業規模を拡大しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間のセグメント売上収益は、2,567百万円となり、セグメント利益（セグメントEBITDA）は209百万円となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上収益は15,679百万円、営業利益は3,417百万円、EBITDAは4,580百万円の増収増益となりました。なお、EBITDAから営業利益への調整は以下のとおりであります。

(EBITDAから営業利益への調整表)

(単位：百万円)

	第8期 第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	第9期 第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
EBITDA	3,284	4,580
減価償却費及び償却費	△848	△1,179
その他の収益	5	47
その他の費用	△17	△31
営業利益	2,424	3,417

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 資産、負債及び資本の状況

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末と比べ2,129百万円増加し60,393百万円となりました。主な変動として、新規連結子会社の取得等に伴いのれんが4,859百万円、事業拡大に伴い営業債権及びその他の債権が934百万円それぞれ増加しております。一方で、借入金の返済等により現金及び現金同等物が5,439百万円減少しております。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ226百万円増加し30,239百万円となりました。主な変動として、借入金の返済と新規の借入を実施したことにより、流動負債の借入金が2,512百万円減少する一方で、非流動負債の借入金が989百万円の増加となったこと、及び調剤薬局支援セグメントにおいて同業者が当社グループに加入したこと等により流動負債の契約負債が422百万円、非流動負債の契約負債が921百万円それぞれ増加しております。なお、契約負債は、前連結会計年度まで「その他の流動負債」に含めておりましたが、重要性が増したことから見直しを行い、第1四半期連結会計期間より独立掲記しており、この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

## (資本)

当第3四半期連結会計期間末における資本は、前連結会計年度末と比べ1,904百万円増加し30,154百万円となりました。主な変動として、四半期利益2,279百万円の計上及び企業結合による変動△559百万円が発生しております。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ5,439百万円減少し、14,459百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における税引前四半期利益は3,408百万円となり、前年同期比ベースで1,002百万円増加しております。一方で、法人所得税の支払額△1,332百万円を計上した結果、営業活動から得られた資金は、1,883百万円となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は5,268百万円となりました。これは主に、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出4,327百万円、無形資産の取得による支出597百万円を計上したことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、2,055百万円となりました。これは主に、短期借入金の返済による支出2,622百万円及び長期借入金の返済による支出590百万円を計上した一方で、長期借入れによる収入1,470百万円を計上したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2021年11月5日の「2022年3月期第2四半期（累計）連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	19,898	14,459
営業債権及びその他の債権	7,753	8,687
その他の金融資産	152	255
棚卸資産	220	280
その他の流動資産	336	752
流動資産合計	28,360	24,435
非流動資産		
有形固定資産	8,186	8,399
のれん	14,508	19,367
無形資産	4,904	5,091
その他の金融資産	1,132	1,270
繰延税金資産	975	1,650
その他の非流動資産	196	177
非流動資産合計	29,903	35,957
資産合計	58,264	60,393
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	3,288	776
営業債務及びその他の債務	5,842	5,945
リース負債	621	669
未払法人所得税	768	576
引当金	8	1
契約負債	1,360	1,782
その他の流動負債	743	1,019
流動負債合計	12,634	10,771
非流動負債		
借入金	10,133	11,122
リース負債	5,411	5,465
退職給付に係る負債	250	317
引当金	190	274
繰延税金負債	818	792
契約負債	574	1,495
非流動負債合計	17,379	19,467
負債合計	30,013	30,239
資本		
資本金	8,971	9,070
資本剰余金	12,932	12,461
自己株式	△1	△1
その他の資本の構成要素	23	19
利益剰余金	6,323	8,605
親会社の所有者に帰属する持分合計	28,250	30,154
非支配持分	—	△0
資本合計	28,250	30,154
負債及び資本合計	58,264	60,393

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書  
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上収益	11,606	15,679
売上原価	4,990	6,609
売上総利益	6,616	9,069
販売費及び一般管理費	4,180	5,668
その他の収益	5	47
その他の費用	17	31
営業利益	2,424	3,417
金融収益	27	36
金融費用	45	45
税引前四半期利益	2,406	3,408
法人所得税費用	827	1,128
四半期利益	1,578	2,279
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	1,578	2,280
非支配持分	—	△0
四半期利益	1,578	2,279
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	30.12	40.61
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	28.98	38.27

## (要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期利益	1,578	2,279
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融 資産	△1	1
純損益に振り替えられることのない項目合計	△1	1
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△0	△1
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△0	△1
税引後その他の包括利益	△1	△0
四半期包括利益	1,577	2,279
四半期包括利益合計の帰属		
親会社の所有者	1,577	2,280
非支配持分	—	△0
四半期包括利益	1,577	2,279

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
				在外営業活動体の外貨換算差額	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2020年4月1日時点の残高	3,412	5,842	△0	△0	—
四半期利益	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	△0	△1
四半期包括利益合計	—	—	—	△0	△1
新株予約権の発行	—	—	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	—	—	—	—
新株予約権の行使	81	89	—	—	—
新株の発行	5,357	5,324	—	—	—
自己株式の取得	—	—	△1	—	—
企業結合による変動	—	4,584	—	—	—
共通支配下の企業結合による影響	—	△3,593	—	—	—
利益剰余金への振替	—	—	—	—	1
所有者との取引額合計	5,439	6,405	△1	—	1
2020年12月31日時点の残高	8,851	12,247	△1	△0	—

	親会社の所有者に帰属する持分				
	その他の資本の構成要素		利益剰余金	合計	合計
	新株予約権	合計			
2020年4月1日時点の残高	20	20	3,847	13,123	13,123
四半期利益	—	—	1,578	1,578	1,578
その他の包括利益	—	△1	—	△1	△1
四半期包括利益合計	—	△1	1,578	1,577	1,577
新株予約権の発行	8	8	—	8	8
株式に基づく報酬取引	8	8	—	8	8
新株予約権の行使	△4	△4	—	166	166
新株の発行	—	—	—	10,682	10,682
自己株式の取得	—	—	—	△1	△1
企業結合による変動	—	—	—	4,584	4,584
共通支配下の企業結合による影響	—	—	—	△3,593	△3,593
利益剰余金への振替	—	1	△1	—	—
所有者との取引額合計	11	12	△1	11,854	11,854
2020年12月31日時点の残高	32	31	5,425	26,555	26,555

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本 剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
				在外営業 活動体の 外貨換算 差額	その他の包 括利益を通 じて公正価 値で測定す る金融資産	新株予約権
2021年4月1日時点の残高	8,971	12,932	△1	△2	—	25
四半期利益	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	△1	1	—
四半期包括利益合計	—	—	—	△1	1	—
新株予約権の発行	—	—	—	—	—	1
株式に基づく報酬取引	—	—	—	—	—	0
新株予約権の行使	98	89	—	—	—	△4
新株予約権の失効	—	—	—	—	—	△0
自己株式の取得	—	—	△0	—	—	—
企業結合による変動	—	△560	—	—	—	—
利益剰余金への振替	—	—	—	—	△1	—
所有者との取引額合計	98	△471	△0	—	△1	△3
2021年12月31日時点の残高	9,070	12,461	△1	△3	—	22

	親会社の所有者に帰属する持分				
	その他の資本 の構成要素			非支配持分	合計
	合計	利益剰余金	合計		
2021年4月1日時点の残高	23	6,323	28,250	—	28,250
四半期利益	—	2,280	2,280	△0	2,279
その他の包括利益	△0	—	△0	—	△0
四半期包括利益合計	△0	2,280	2,280	△0	2,279
新株予約権の発行	1	—	1	—	1
株式に基づく報酬取引	0	—	0	—	0
新株予約権の行使	△4	—	182	—	182
新株予約権の失効	△0	—	△0	—	△0
自己株式の取得	—	—	△0	—	△0
企業結合による変動	—	—	△560	0	△559
利益剰余金への振替	△1	1	—	—	—
所有者との取引額合計	△4	1	△376	0	△376
2021年12月31日時点の残高	19	8,605	30,154	△0	30,154

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	2,406	3,408
減価償却費及び償却費	848	1,179
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	236	△740
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△54	△42
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△984	△31
その他	△417	△550
小計	2,035	3,222
利息及び配当金の受取額	27	36
利息の支払額	△37	△43
法人所得税の支払額	△1,152	△1,332
営業活動によるキャッシュ・フロー	873	1,883
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,383	△258
無形資産の取得による支出	△626	△597
貸付けによる支出	△2,622	△10
投資有価証券の取得による支出	△223	△53
投資の売却及び償還による収入	511	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	361	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△4,022	△4,327
その他	△138	△21
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,143	△5,268
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,622	—
短期借入金の返済による支出	△840	△2,622
長期借入れによる収入	6,394	1,470
長期借入金の返済による支出	△487	△590
リース負債の返済による支出	△384	△496
株式の発行による収入	10,714	—
新株予約権の行使による収入	159	182
その他	△18	1
財務活動によるキャッシュ・フロー	18,158	△2,055
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	10,889	△5,439
現金及び現金同等物の期首残高	7,692	19,898
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,582	14,459

## (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報)

## (1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社グループは提供するサービスの性質の類似性に基づいて複数の事業を集約しており、「ヘルスビッグデータ」、「遠隔医療」及び「調剤薬局支援」の3つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントを構成する事業及び主要なサービスは以下のとおりであります。

報告セグメント	報告セグメントを構成する事業	主要なサービス
ヘルスビッグデータ	インダストリー向け事業 保険者・生活者向け事業 医療提供者向け事業	医療データベース（レセプト・医薬品ほか）の開発・提供、医療ビッグデータの分析
遠隔医療	遠隔医療事業	遠隔読影マッチングサービス及び遠隔読影システムのASPサービス
調剤薬局支援	調剤薬局支援事業	調剤薬局向け業務システムの開発・販売

## (2) 報告セグメントに関する情報

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は以下のとおりであります。

セグメント間の内部売上収益は、市場価格や製造原価を勘案し、価格交渉の上決定した取引価格に基づいております。セグメント利益はEBITDA（営業利益+減価償却費及び償却費±その他の収益・費用）であります。

前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	連結
	ヘルスビッグ データ	遠隔医療	調剤薬局支援	計		
売上収益						
外部収益	6,728	3,000	1,876	11,606	—	11,606
セグメント間収益	24	—	73	97	△97	—
合計	6,753	3,000	1,950	11,704	△97	11,606
セグメント利益						
EBITDA	2,316	918	241	3,476	△192	3,284

(注) 調整額の内容は、セグメント間取引の消去及び全社費用になります。

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	連結
	ヘルスビッグ データ	遠隔医療	調剤薬局支援	計		
売上収益						
外部収益	9,831	3,370	2,476	15,679	—	15,679
セグメント間収益	52	—	90	143	△143	—
合計	9,883	3,370	2,567	15,822	△143	15,679
セグメント利益						
EBITDA	3,412	1,200	209	4,823	△242	4,580

(注) 調整額の内容は、セグメント間取引の消去及び全社費用になります。

EBITDAから税引前四半期利益への調整表は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
EBITDA	3,284	4,580
減価償却費及び償却費	△848	△1,179
その他の収益	5	47
その他の費用	△17	△31
営業利益	2,424	3,417
金融収益	27	36
金融費用	△45	△45
税引前四半期利益	2,406	3,408

(重要な後発事象)

該当事項はありません。